

新型コロナウイルスを乗り越えよう

彩 発見

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「新しい生活様式」での日常生活が余儀なくされるなど、我々のくらしや意識には大きな変化が生じている。川越市では毎年多くの人々を楽しませてきた「川越まつり」が32年ぶりに中止になるなど、寂しい状況が続いている。

県民の皆様にも、郷土・埼玉県をもっと知ってもらおうと企画した「彩発見特集」。第二弾では県内有数の観光地である小江戸川越の魅力をお届けする。感染を予防しながら日常生活を送る「with コロナ」や収束後の「afterコロナ」でのお出かけ候補を見つけ、郷土の魅力を再発見しよう。



川越まつり会館

川越まつり会館ではユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財の川越氷川祭の山車行事(川越まつり)に関する資料を展示しており、建物は川越の感造りのデザインとなっている。館内では祭礼の変遷や背景が学べるだけでなく、川越まつりで実際に曳かれる本物の山車2台を定期的に入れ替えて展示し、大型スクリーンによる川越まつり当日の様子が上映されるなど、まつりの興奮と感動をいつでも体験できる。



①山車2台を定期的に入れ替えて展示しており、現在は猩猩(しよじょう・川越市)と小狐丸(こぎつねまる・幸町)が10月27日まで展示中

②会所では行きかう人々の会話が再現

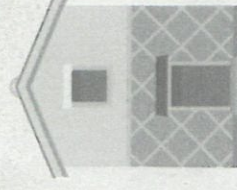
③展示コーナーではお囃子の歴史を説明

④大型スクリーンではまつりの熱気と興奮が体験できる

⑤通路ではまつりに携わる人々の思いを紹介

「感造りのまち」

小江戸川越



インフォメーション

所在地：川越市元町2-1-10

開館時間：(4~9月)午前9時30分~午後6時30分
(10~3月)午前9時30分~午後5時30分
(入館は開館30分前まで)

休館日：毎月第2、第4水曜日(祝日の場合、その翌日)
12月29日~1月1日・臨時休館日など

観覧料：一般300円、小中学生100円

安元(1648)年

うになった。

の影を強く受